

「お薬手帳を

活用しよう」

病院や診療所の薬は一人一人の病気に合わせて処方されています。お薬手帳は、あなたに処方された薬の名前や飲む量、回数、飲み方などを記録し、携帯するための手帳で、薬をより安全に効果的に使えます。

▼どこでももらえるの？

①保険薬局で・・・

院外処方せんで調剤をする薬局ならどこでももらえます。副作用・相互作用などの情報を含めて調剤師に記入してもらいましょう。

②病院で・・・

病院の薬剤師からもらうこともできます。外来で薬をもらう時、退院する時などにももらいま



＜お薬手帳の書き方＞

- ・医師や薬剤師に記入してもらいましょう。
- ・病気によっては使用できない薬がある場合があります。
- ・病気に合わない薬をチェックします。

しょう。

▼どうやって使うの？

①病院・医院・歯科医院・薬局に行く時

かかりつけ医院・薬局に行く際に持っていくと、医師・薬剤師が薬の飲み合わせをチェックしてくれ、副作用を防げます。

②入院する時

医師・薬剤師が、飲んでいた薬等をチェックし、入院中の治療に最適な薬を選択します。

③薬局・薬店等で薬を買う時

薬剤師がお薬手帳の記録をチェックし、あなたに合う薬のアドバイスをします。

④急に具合が悪くなった時

救急外来では、飲んでいる薬を必ず聞かれるので、お薬手帳が役に立ちます。

⑤献血する時

献血受付の問診では、過去にかかった病気や今飲んでる薬を聞かれます。お薬手帳を持っていればすぐ確認できます。

▼使った人にとって、良い事って何？

①副作用予防

同じ薬で起きるアレルギーは、2度目が強くでると言われるため、副作用の出た薬を記録しておきましょう。

②飲み合わせチェック

形は違っても、同じ効果の薬

はかなり多く、お薬同士が、相手の効き方を変えたりします。飲み合わせは貼り薬や、目薬でもあるので、専門家による、飲み合わせチェックを受けましょう。

③健康記録

病院等でもらった検査値などのデータ、体調の変化も記録すると、健康管理記録にもなります。

④旅行に行く時

旅先に薬を持っていくのを忘れても、お薬手帳を見れば、いつもと同じ薬を処方してもらえます。

⑤災害時

災害時には、この記録が大変役に立ちます。お薬手帳を参考に適切な薬が容易に処方できます。

お薬手帳は、あなたと医師、歯科医師、薬剤師をつなぐ大切な手帳です。いつでもどこにでも持ち歩きましょう。

文 黒磯薬剤師会 白井 規夫